

## 2021年度第2回経営協議会議事要旨（案）

- 日 時 2021年11月26日（金） 15:00～17:10
- 場 所 Zoomによるオンライン会議
- 出席者 田中 雄二郎学長、  
遠藤 信博委員（学外委員）、河村 潤子委員（学外委員）、  
福田 誠委員（学外委員）、佛淵 孝夫委員（学外委員）、  
宮崎 隆委員（学外委員）、山口 寿一委員（学外委員）、  
大川 淳委員（医療担当理事）、  
古川 哲史委員（研究・改革担当理事）、  
若林 則幸委員（教育担当理事）、  
木村 彰方委員（目標・評価担当理事）、  
廣川 和憲委員（財務担当副理事・副学長）  
今村 聡子委員（事務総括・男女共同参画・障害者雇用担当副学長、  
事務局長）
- 陪席者 瀬下 明学長特別顧問、鐘江 康一郎理事（IT化・業務改善担当）、  
藤谷 茂樹監事、岸上 恵子監事、由井 伸彦広報部長、  
永田 昭浩総務部長、米澤 聡司財務部長、福手 孝人施設部長、  
横山 直樹統合教育機構事務部長、坂下 鈴鹿統合研究機構事務部長、  
藤谷 浩至統合国際機構事務部長、佐藤 和也統合情報機構事務部長、  
秋葉 泰樹病院事務部長、白谷 正洋戦略企画課長
- 欠席者 氏家 純一委員（学外委員）、山口 武兼委員（学外委員）

### ○ 確認事項

#### 1 2021年度第1回経営協議会議事要旨（案）について

田中学長から、2021年度第1回経営協議会議事要旨（案）について、資料1に基づき確認を行い、原案どおり承認された。

○ 審議事項

1 役員給与規則及び役員退職手当規則の改正（案）について

永田総務部長から、役員給与規則及び役員退職手当規則の改正（案）について、資料2-1及び資料2-2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2 2021年度賞与係数の見直し（案）について

永田総務部長から、2021年度賞与係数の見直し（案）について、資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3 役員賞与の成績率の決定（案）について

田中学長から、理事の賞与の成績率の決定（案）について審議願いたい旨の提案があり、支給対象の理事及び陪席者が退室した後、資料4-1に基づき、田中学長から説明があり、審議の結果、理事の賞与の成績率について原案どおり決定した。

その後、退室していた理事が入室した。続いて、田中学長から、監事の賞与の成績率の決定（案）について審議願いたい旨の提案があり、支給対象の監事が退室した後、資料4-2に基づき、田中学長から説明があり、審議の結果、監事の賞与の成績率について原案どおり決定した。

その後、退室していた監事が入室した。続いて、田中学長から、学長の賞与の成績率について審議願いたい旨の提案があり、議事進行を山口寿一委員へ依頼した後、支給対象の田中学長が退室した後、資料4-3に基づき、山口寿一委員から説明があり、審議の結果、学長の賞与の成績率について決定した。

○ 報告事項

1 大学ファンドについて

今村事務局長から、大学ファンドについて、資料5-1及び資料5-2に基づき説明があった。

その後、田中学長から、本学は医学歯学では卓越した研究分野を持っているが、総合大学と比較して多様性（広がり）を持っていないため、大学ファンドへの申請を見据えて大学間の医工連携を検討していくことについて説明があり、また今回欠席している氏家委員からの意見として、大学ファンドはすぐに想定される運用益（3,000億円）を上げることは難しいが長期的には可能と思われるため、運用されていくという前提で大学も捉えた方が良いとの説明があった。

これに対して、委員から次のような意見があった。

遠藤委員から、データを中心とした医療が将来的に非常に大きな領域になることが予想されるため、大学間の連携により新たな医療を拓いていくことは非常に有効かつ重要である旨の発言があった。

福田委員から、大学間の連携は意思を固めてから実現するまでに時間を要することを踏まえて、大学ファンドへの申請の必要条件であるかにかかわらず、早い段階で進めた方が良い旨の発言があった。

河村委員から、これからの国による大学支援が少数精鋭になることを踏まえ大学間の連携の可能性を追求することには賛同するが、その際、学問の自由や学生の存在という他の研究機関との相違点を踏まえて、学生の教育という本来の大学の使命を堅持すべきである旨の発言があった。

佛淵委員から、大学間の連携の実現にあたっては、学内の了解を得るプロセスが非常に難しく、連携先の大学にとってメリットがあるかが重要であり、また行政の側から単独では申請困難であることが明らかになれば、将来的に大学ファンドへの申請が可能となるのではないかとの発言があった。

山口寿一委員から、本学の強みは附属病院を有していて医療のビッグデータを保有していることなので、大学間の連携にあたり、強みを活かすストーリーを作ると良いのではないかとの発言があったほか、大学間の連携にあたり、まずは一般社団法人を設置しそこにガバニング・ボードを置くといった中間的なステップを踏んで実現性を高めていくことも一案である旨の発言があった。この発言を受けて、田中学長から、大学等連携推進法

人についても選択肢として考えたい旨の発言があった。

宮崎委員から、今後の高齢社会の中で日本が生き延びていくためには新しい医療介護システムの立ち上げが必要であり、これを実現するためにも大学間の連携は必要である旨の発言があった。

## 2 附属病院に係る新型コロナウイルス対応及び経営状況について

大川理事及び秋葉病院事務部長から、附属病院に係る新型コロナウイルス対応及び経営状況について、資料6に基づき説明があった。

また、田中学長から、患者の受療行動が変わっていることを踏まえて、社会的なニーズがある診療科の拡充について提案があった。この提案を受けて、佛淵委員から、空床のベッドを社会的なニーズのある診療科の拡充に充てることについて、空床のベッドを減らせば患者数の上昇は見込まれて収入が増加する一方、それに見合う人員の手当が必要である旨の発言があった。

## 3 2021年度収支見通しについて

米澤財務部長から、2021年度収支見通しについて、資料7に基づき説明があった。

## 4 2021年度人事院勧告への対応について

永田総務部長から、2021年度人事院勧告への対応について、資料8に基づき説明があった。

## 5 越中島住宅の取り壊しについて

今村事務局長から、越中島住宅の取り壊しについて、資料9に基づき、全ての利用機関からの同意を得られた旨の説明があった。

## 6 世界大学ランキング2021-2022について

由井広報部長から、世界大学ランキング2021-2022について、資料10に基

づき説明があった。

また、田中学長から、世界大学ランキングの低下について、古川理事を中心に対策について検討する旨の発言があった。

7 医学部入学定員の変更に係る学則の改正について

若林理事から、医学部入学定員の変更に係る学則の改正について、資料11に基づき説明があった。

8 2021年度上半期資金運用状況について

田中学長から、報告事項8については、資料配付のみとし、個別の説明は省略する旨の発言があった。

9 東京都との連携状況について

田中学長から、報告事項9については、資料配付のみとし、個別の説明は省略する旨の発言があった。

○ その他

瀬下学長特別顧問から、本学が新型コロナウイルスに徹底して対応してきた一方で大学全体としては収支改善となる見通しであることに安堵した点と、医療が国民の幸せを左右する時代になり、大学ファンドを活用して総合大学と比して鋭角的な取組や実務的な医療に特化することが意義深いのではないかとの発言があった。

(以上)